

2017年12月 第68号

ひとひと  
女と男

きらめき

発行 沖縄市役所 市民部 平和・男女共同課  
沖縄市男女共同参画センター〒904-0003 沖縄市住吉1丁目14番29号(3階)  
(沖縄市社会福祉センターとの複合施設)  
TEL (098)937-0170 (平日9時~17時)  
FAX (098)937-0175

Kirameki

OKINAWA

## きらめきフェスタ 2017

LGBT を含む性の多様性の理解を広げることを目的に、講演会やワークショップ、市立図書館での絵本の読み聞かせ等さまざまなイベントを開催しました。

## 元タカラジェンヌ 東小雪 講演会

LGBTを理解する ~同性婚・新しい家族のかたち~

11月2日(木)に沖縄市民小劇場あしびなーにおきまして、セクシュアル・マイノリティー(性的少数者)の当事者で東京都渋谷区のパートナーシップ証明第1号の認定を受けた東小雪さんをお招きし、「元タカラジェンヌ東小雪講演会LGBTを理解する~同性婚・新しい家族のかたち~」を開催しました。

※LGBTとはレズビアン(女性同性愛者)、ゲイ(男性同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(心と体の性が一致しない人)の頭文字をとった言葉です。性の多様性とはLGBTや、心と体の性が一致せず心と体の性の一致を求める性同一性障害などを含む、多様な性のあり方を示す言葉です。

■東小雪氏  
プロフィール

LGBT アクティビスト。東京ディズニーシーにて初の同性結婚式を挙げ国内外で話題に。講演、企業研修、テレビ・ラジオ出演、執筆など幅広く活躍中。テレビ朝日「ビートたけしのTVタックル」などのメディアに多数出演。著書に『なかつたことにしたくない 実父から性虐待を受けた私の告白』(講談社)、増原裕子との共著に『女どうして子どもを産むことにしました』(KADOKAWA)、『同性婚のリアル』(ポプラ社)、がある。LGBT初のオンラインサロン「こゆるサロン」運営。

## 講演会内容の一部紹介

高校生の頃に女の子が好きだと気がついた  
—セクシュアリティの気づき—

中学の時に仲のいい親友の女の子のことが大好きだったけど、当時はそれが恋愛感情だという意識がなかった。高校生の時にその女の子と同じクラスになり、「実は女の子と付き合っている」とカミングアウトを受けた。女の子が女の子とつきあうこともあることを知って、私が彼女に抱いている気持ちは恋愛感情だったということに気がついた。それと同時に、自身のセクシュアリティ(性のありかた)に気づいた。

## カミングアウト

23歳の時宝塚歌劇団退団後、金沢の実家に戻った時、両親に「実は女性が好きだ」とカミングアウトした。父も母もとても残念そうにしていた。当時はLGBTという言葉がなかったので、自分自身もどうして良いか分からなかったし、親も理解がなかった。親に理解があり受け入れてくれる声かけがあったら良かったのにと今になっては思う。



**G7における同性カップルの法的保証がないのは日本だけ。**

G7 (先進国 7カ国: 日、米、英、仏、独、伊、加) の中で同性カップルにおける国レベルの法的保証が何もないのは日本だけ。それも残念な事実ですが、実は、日本はG7のなかでジェンダーギャップ指数(男女の格差の度合い)が大きく、男女平等が遅れている。日本は昨年と比べ144カ国中114位とまた下がっている。

LGBTの人権を守っていこうというのも大事なことだけど、男女共同参画を進めていくのもとても大切なことだと思います。



**同性パートナーシップ制度で得られる安心感**

日本では同性婚はまだ認められていない。婚姻できないことで、「所得税の控除を受けられない。公営住宅に家族としては入れない。こどもの共同親権がもてない。病院で家族として面会できない不安」など、多くのことがある。同性パートナーシップ証明があることで、「行政に認められた」と体感した。それと同時に、携帯通信会社や病院などでも家族として認められ、生活していくうえでの安心感を得られた。日本初ということで、テレビや新聞などのメディアでも大きく報じられましたが、まだ始まったばかりの取組です。より使いやすい制度になっていくように、私たちもしっかり見守っていきたいと思います。(※同性パートナーシップ制度とは、婚姻に相当する関係性があることを自治体が公的に承認すること。現在、渋谷区、世田谷区、宝塚市、伊賀市、那覇市、札幌市が導入している)

なりたい自分をメイクする!

**おねえカラースらむ&らんのメイクアップレッスン**

11月3日(金)に「メイクに自身がない」「メイクをしたいけど勇気がない」方を対象にセクシュアル・マイノリティの当事者のらむちゃんたらんちゃんによる、本来の自分を表現するメイク術を学びました。



受講者の声

- ・アドバイスが具体的に分かりやすかった。未知の体験をさせてもらった。楽しかったです。
- ・新しいメイクを知ることができ勉強になりました。

**レインボー読み聞かせ  
～絵本の世界～**

11月4日(土)市立図書館おはなしの部屋において、LGBTを含む性の多様性に関する「絵本の読み聞かせ」を行いました!こどもたちは、読み聞かせを通して「自分らしさを大切にすること」「柔軟なものの見方が人生をより良いものにしていくこと」を学びました。絵本の世界に終始引き込まれ多くのことを感じとっていました。



写真左側が美里小学校読み聞かせボランティアの田盛健了さん。右側は真栄里利恵子さん。中央は、LGBT講演会や研修などの講師を行い啓発活動に取り組む沖縄市男女共同参画センター職員城間勝



**レインボーBOOKコーナー**

10月27日(金)～11月5日(日)の間、市立図書館においてLGBTを含む性の多様性に関する書籍の紹介の他、LGBTなどセクシュアル・マイノリティであるがゆえに、トイレや病院、学校、会社等の日常生活で困ったエピソードを展示しました。





# 沖縄市女性団体連絡協議会

沖縄市女性団体連絡協議会は、平成3年に結成され現在市内13団体が加盟(1団体休会)し述べ1万4千人の会員がいます。平等・発展・平和の理念の下、会員の資質向上と地位向上、男女共同参画社会の実現及び沖縄市の活性化を図ることを目的に活動しています。

沖縄市女性団体連絡協議会に加盟している、沖縄市更生保護女性会の紹介をします！

## 沖縄市更生保護女性会

沖縄市更生保護女性会は、昭和45年5月31日に福祉の母と呼ばれる「島マス先生」を初代会長として「中部地区婦人会福祉友の会」として結成しました。

昭和47年11月5日に沖縄県で復帰記念更生保護大会が開催され、全国更生保護婦人会連盟会長の「島津久子先生」がご来沖されました。先生は、沖縄の青少年問題を憂慮され、旧コザ市においても更生保護の役割などを訴えられました。それを機に「中部更生保護婦人会」と改称し沖縄県で初めての結成となりました。

女性特有の温かさや細やかさを活かし犯罪や非行に走った青少年の立ち直りや健全育成を母親の立場で支援しながら活動を続け、平成15年11月30日に「沖縄市更生保護女性会」と改称しました。

### 主な活動

更生保護施設訪問・ミニ集会・青色回転灯パトロール・万引き防止パトロール・年金支給日詐欺防止チラシ配り・社会貢献活動・赤い羽募金活動・小中学校挨拶運動

沖縄市に住んでいる方で、会の趣旨に賛同し  
ご協力して下さる女性をお待ちしております。



あなたも一緒に活動しませんか？

問い合わせ先：沖縄市役所 平和・男女共同課 直通(TEL.929-3147)

沖縄市更生保護女性会 会長 名幸直子

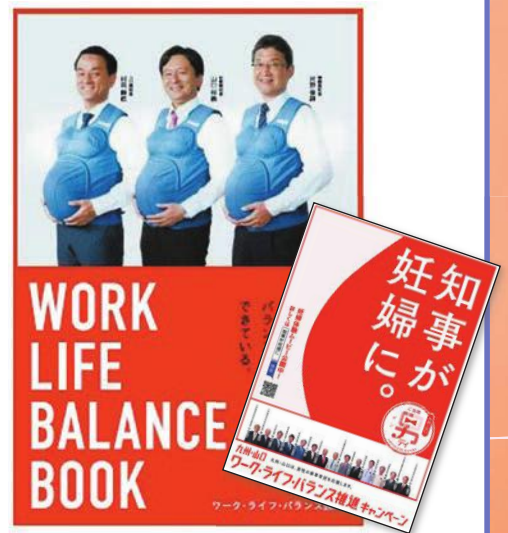
幸せは、家庭と仕事のバランスでできている。

# ワーク・ライフ・バランス

やりがいのある仕事ができる幸せ。充実したプライベートが送れる幸せ。この2つを自身が希望するバランスで実現できるのがなによりいちばんの幸せです。

いつもより早く帰ることができれば、いつもはできない趣味の時間が持てる。いつもよりゆとりのある生活ができれば、いつもは出てこないアイデアが生まれる。

ひとりひとりのちょっとした意識で毎日の働き方は変えられる。今の働き方が変われば、ひとりひとりもっと幸せな生活が送れると思いませんか？



## 認証企業沖縄市内 3 社を紹介！

沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証



沖縄県では、社員が仕事と私生活のバランスを取りながら、その持てる能力を最大限に発揮できるよう支援する企業を認証し、社会的に評価される仕組みをつくとともに企業の自主的な取組を促し、もって労働者福祉の増進と次世代育成支援に資することを目的に制度を創設し、これまでに 67 社を認証しています。沖縄市内では 3 社が認証を受けています。

**トランスコスモス(株) 沖縄本部**  
住所：沖縄市中央 1-32-7

**有限会社エム・アイ・ジェイ・システム**  
住所：沖縄市中央 3-5-46

**株式会社 仲本工業**  
住所：沖縄市美里 6-5-1

※詳しくは、「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業認証」で検索

## 女性に対する暴力をなくす運動パネル展を開催しました！！

11月20日～24日

夫、パートナー等からの暴力、性犯罪、売買春、セクシュアル・ハラスメント、ストーカー行為や人身取引、女性に対する暴力は女性の人権を侵害するものであり、決して許されるものではありません。暴力に悩む女性を生み出さない、暴力を許さない社会にするため、女性に対する暴力の問題について考える機会としてパネル展を沖縄市役所 1階市民ホール、沖縄市男女共同参画センター、ちばなクリニックで実施しました。



## AV 出演強要、JK ビジネスの被害を知っていますか？

「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられた。「高収入アルバイト」に応募した。その後聞いていない・同意していない、性的な行為等の「写真」「動画」の撮影をされたり、性暴力やストーカー等の被害を受けた。それをきっかけに若い女性が性的な被害を受ける問題が発生しています。

こうした問題も「女性に対する暴力」に当たる重大な人権侵害であるとともに安心して安全な暮らしの基盤を揺るがす問題です。



## パープルリボンを配布しました！



パープルリボン・プロジェクトは、女性への暴力の根絶を訴える象徴として、1994年にアメリカ・ニューハンプシャーの市民らによって始められ、現在 40 以上の国々で広がり国際的なネットワークに発展しています。このプロジェクトの趣旨へ賛同した方へパープルリボンを配布しました！